

富良野通信 2008

富良野通信十六年目

10年からの富良野からのお便りも今年で十六年目に入りました。何となく続けて来られたのもひとえに皆様方のお陰で心よき感謝申し上げます。

第二回目の通信は一九九一年七月十一日、富良野は麓郷の「空知川 いかだ下り」の話題をお届けしました。「北の国から」の純くちも参加していた大会です。私もこのドラムをきっかけに富良野にもってきたわけですが最近富良野に移住してきた人たちは「北の国から」は見えないという。十年一昔、四捨五入で昔の時間の流れですね。「この通信せいの後数年は「北の国から」の話題が登場しました。九十六年にはホームページを開設。全国にお友達が増えてきました。メロンのこと、鹿や狐など野生動物のこと、アイヌの話、愛犬たち、過疎の問題、などなど、なまら思いこきの話題で語り続けて頂きました。昨今の農業情勢は厳しいを増し農園もいつまで続けられるものかと心配しながらも一年一年粘って来ました。これから気合を入れなおしてがんばります。

市場開放 道新2008/1/10(木) 朝食農食の

日豪経済連携協定(EPA)交渉、緊く話して恐縮です。でも大事な話。新聞では「関税が完全撤廃された場合の北海道の農家の三分の一が廃業する」との予想。関連産業を含め4万7千人の雇用が失われる。「ヤコウイマス。少くばかり大げさに割の出しているように思えますが、大同小異ではないか。その記事にはオーストラリアの視察の様子が伝えています。

道農産物通関が平成十九年九月豪州東部ヤングという町の農家を視察しています。約800ヘクタール(豪州平均の四分の一以下、道内平均の400戸分以上)の農家の管理コストは約300万豪ドル(2000万円)だとい

て日本と同じ規模で4億円かかるという。日本農家がいくら努力しても無理だといっています。生産品目によつての単価に面積対等農コストを比較するのは乱暴な話ですが、あまりにも違っています。お話しにならない。

これだけ安く生産できるから日本側は関税をかけて日本市場に輸入農産物を出回らないようにしているわけですね。ちなみに小麦の関税率は210%です。これだけを考えれば日本の消費者は日本の農家を護るため高い小麦を買わされているといえます。ただこの問題になってくるのが食料自給率。「承知の通り日本では四十を切ると三十九%の自給率になります。日本側農水省試算では農産物関税主廃の場合、食料自給率は現在39%から12%」。豪州側は日豪大使館 全廃15年後でも対日輸出量は5%しか増加しない。日本側の試算(反論)安く買えない自給率を上げれば問題ないので。毎日のように話したのを「温暖化」。日本向けに関税を下げ、または無償でも小麦を売るといっているオーストラリアは大豆の脅威に晒されている。

USのシーストンプの度々干ばつ。06-07年「100年に一度の大干ばつ」だった。小麦生産量は20%減(前年比)。07-08年は4%減が見込まれると報じています。食料生産そのものが怪しくなっているように思えます。生産国の食料確保にシフトしたところから「お金の差」も出てくるかもしれません。私には農家の立場ですが、消費者でもあります。パンも納豆も豆腐もその他もろもろ輸入に頼った食料を購入しています。その立場で物申せば本場にこの先心配です。

NPO法人「北海道食の自給ネットワーク」(札幌)事務局長のコメント「輸入食料に依存している限り、牛海綿状脳症(BSE)や鳥インフルエンザなどが起きたらびびるに決まっています。消費者も自分の食を手にするにまつて真剣に考えなくては」

金じゅうのうさぎ

田高・ドル安からか投資マネーが金相場を押し上げていますね。調べてみました。

金の人類有史以来掘出し量は16万トン(小学校50教室程度)で大半は装飾用に使われているといいますが、世界備蓄総量は3万トン→時価100兆円程度だといふその程度の高「一喜一憂」している。ちなみにキヤンメル1粒で15万円(今はお高い)。



100歳バンザイ

某医療機関調査による「長生きアンケート」

百歳以上の対象・長寿の秘訣

血液型・B型

星座・射手座(12月生まれ)

職業・お坊さんと学校の先生

食事・好き嫌いなし

性格・頑固

生活習慣・マイペース

酒・タバコ・無理にやめなご、飲酒とタバコは適度に

楽しむ

自分にあった楽しい趣味を持つ、くつろいで暮らす色んな楽しみ

男性の長寿にもっとも大切なのは

オチャメでエッチな女



